

「昭和女子大学大学院生活機構研究科生活文化研究専攻アーキビスト養成プログラムを修了して」

廣池千九郎記念館 学芸員

山崎 聡

本発表では、昭和女子大学大学院（令和4年度修了、1年制）の特徴と修士論文の概要を通じて、今後の業務や研究の展望を述べました。

特徴は、文書資料の整理・方法論を学ぶ史料論、電子文書を概念から学ぶ情報論、実習等のアーカイブズ学関連科目を中心に保存科学・古文書解読など、業務に有用な知見を幅広く学べた点です。

廣池千九郎関係資料の整理過程を情報整理の観点から考察した修士論文については、ハーバード大学図書館の「代替保存の原則」を用い、文書資料のマイクロフィルム化を評価したことを報告しました。現代の観点からみても、一定の水準に適った代替物が作成され、それを基にした整理がなされていたと提示しました。

今後の展望として、財団アーカイブズの構築を念頭に、国際標準記述が適用されていない廣池千九郎関係資料への、アーカイブズ記述の新標準 RiC の適用を検討すること、また調査で発見した整理作業の記録類の将来的な活用方法を模索すること等を挙げました。

以上を踏まえて、今後は資料の利用のしやすさと保存方法の向上を両立していきます。